



40年来の願い 佐屋駅前周辺整備計画は

佐藤 信男議員

地域の理解をもらい進めたい

市長

	藤浪駅	勝幡駅	佐屋駅
平成29年度 乗降客数(人)/日	4,523	2,947	4,280
駅前広場(m ²)	5,100	(北)5,100 (南)1,600	都市計画の 見直し
事業期間(年)	16	12	未定
事業費(円)	19億6,800万	20億560万	未定

▲新設駅との比較

問 佐屋駅前周辺整備は、昭和53年に都市計画決定された。その内容は、

答 佐屋駅前広場は、鉄道の西に駅前広場として約2千m²、東に約2600m²の規模で計画。鉄道と県道の交差部分は、道路が鉄道の下を横断する立体交差形式である。

問 都市計画決定の変更はできるのか。

答 整備の方向性を見直しと必要性や配置、構造等の検証を行い、変更理由を明確にすればできる。

問 都市計画決定を変更するための手順は、

答 都市計画基礎調査や交通調査等を経て、計画案を整理する。都市計画

問 佐屋駅を含めた佐屋駅前周辺整備は、利用者や近隣居住者にとっては、過去40年以上も前からの願いだ。何か計画は、

答 名鉄は、安全対策や駅舎の改修等を検討している。整備を進めるには、

素案の作成、住民説明会、都市計画案の縦覧、県都市計画審議会への付議、国への同意協議などを経る。

地域、地権者、隣接地権者等の理解と協力がなければできない。計画策定や事業決定には時間が必要。理解をもらい進めたい。



▲現在の佐屋駅